

# 3月定例会 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会(議長を除く19人の議員で構成、委員長は多田誠一議員、副委員長荒川栄悦議員)は、条例9件、予算16件、その他9件について付託を受けて4日間の審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全34議案が原案のとおり可決されました。

## 文化研究センターの役割について

**問** 文化研究センターに関して、「文化」という意味、中身について説明してほしい。

**答** 「文化」とは、人間が関わる全てのこと、できごとであり、人が生まれて亡くなるまでに関わったこと全てであると理解している。

**問** ここでいう「文化」とは、遠野の民俗学的なものに絞られていくというふうに見えるが。

**答** 決してそうではなく、幅広く取り組んでいく。しかし一度に全部のことをこの研究センターでできるとは思っていない。年度計画を立てながら一つひとつ着実に実行していく。

**問** 10を超える事業を先ずは取組むとしているが、その具体的中身は。

**答** 18事業のうち10の事業を今年度は着手したい。その主なものは、▼

遠野文化賞を創設し、遠野の文化を活かして遠野を元気にした個人、団体を表彰する▼『遠野学』という250頁前後の出版物を発行する▼『まよいが』という70頁前後の出版物で年2回の発行▼『遠野文化フォーラム』の開催▼『映像アーカイブ事業』といい、家に保存・所蔵している古い写真とか8ミリフィルムといったものを収集調査して、その家なり地域の文化を明らかにしていこうというもの▼『遠野文化友の会』を設立し、市民はもちろん、全国の皆さんにその会員になっていただき、情報発信をしていく▼来年に迫っている柳田國男没後50年事業も23年度から準備を進める▼『遠野民俗史』を5年を目標に出版▼遠野物語発刊百周年記念事業のうち継続が必要な事業も行っていく。例えば『語り部千人プロジェクト』

などである。

## 火葬場の使用料について

**問** 斎場使用料とは火葬のみのことか。待合など施設全体を含んだものなのか。

**答** 火葬料のみでなく施設全体を含んだ使用料である。

**問** 施設が新しくなったからといって、これまで無料だったものを有料にするのはいかがなものか。

**答** 有料化に至るまでには様々な議論を重ねてきたが、施設の管理運営費は従来の倍以上かかることが見込まれ、他市の状況も有料化の方向である。また、市民への説明会でもご理解を頂いていることから、当市としても利用者の方々に実費半額程度の費用負担をお願いしたいと考えて有料としている。

**問** 小動物の墓地公園設

置の考えはないのか。

**答** 現在、市内で動物の遺骨受け入れ可能な寺院は3ヶ所ある。市民の要望も踏まえながら、市としても今後検討したい。



23年5月に供用開始する新斎場「永遠の丘」

## 地域活動専門員について

**問** 地域活動専門員について何人採用し、どのような活動をさせるのか。

**答** 3名の採用を予定し、活動内容は街づくりの基本である「地域づくり・健康づくり・人づく